

別記様式（第2条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	庁 議
開 催 日 時	令和7年9月26日（金）午後1時28分～午後1時56分
開 催 場 所	301会議室
出席者及び 欠 席 者	出席者：市長、副市長、教育長、企画財政部長、総務部長、総務部危機管理担当部長、市民部長、協働推進部長、環境部長、健康福祉部長、健康福祉部高齢・障害担当部長、子ども家庭部長、都市整備部長、都市整備部建設管理担当部長、教育部長、教育部学校教育担当部長、議会事務局長、会計管理者 欠席者：なし 説明員：財政課長
議 題	1 令和8年度予算編成方針について 2 その他
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	議題1：原案のとおり決定する。 議題2：「令和8年度予算編成方針」については、10月1日に依命通達として、各部長宛に送付する。 令和8年度予算編成事務要領等の配布は10月1日、予算見積書の提出期限は10月31日を予定している。
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。） （発言者） ○印=構成員 ●印=説明員	議題1 令和8年度予算編成方針について （企画財政部長説明） 本日、御審議いただく令和8年度予算編成方針（案）については、武蔵村山市予算事務規則第8条第1項の規定により、市長の命を受けて、会計年度ごとに定めるものである。 令和8年度予算編成方針（案）については、財政課長から説明する。 （財政課長） —令和8年度予算編成方針（案）について朗読— —補足説明— 資料2「令和8年度予算編成方針（案）の前年度との比較」に基づいて補足説明をさせていただきます。 1 ページの「国及び東京都の令和8年度予算編成の考え方」は国及び東京都が公表した資料に基づき、令和8年度の予算編成方針の内容に修正している。 2 ページの「本市の令和6年度普通会計決算概要」については、令和6年度普通会計決算の内容に修正している。具体的には、定額減税に伴う個人市民税の減はあったものの、市税等収入が105億円を維持したこと、市債残高が2年連続で大幅に減少したこと、歳出が防災食育センター施設整備の実施によって大幅に増加したこと、経常収支比率が令和5年度と比較して1.6ポイント増の96.2%となったことを修正している。 「予算編成の基本方針」については、昨年度から冒頭に月例経済

報告から引用した最近の景気動向を記載することとしたが、最新の令和 7 年 8 月分の内容に修正している。

3 ページ中段から重点課題を記載しており、4 つの重点課題のテーマは変更していない。修正点としては第一の多摩都市モノレールの市内延伸について、本年 3 月に都市計画決定がなされたこと、多摩都市モノレール沿線まちづくり方針が策定されたこと等、最新の動向を踏まえ修正している。

また、第四の将来にわたって持続可能な行財政運営の実現について、取組の例示を市の D X（デジタルトランスフォーメーション）や窓口業務委託化等に修正した。

4 ページの「1 基本的事項」の(1)については、物価高騰や賃金上昇等により、行政コストが増加しており、令和 8 年度以降も厳しい状況が続いていることを追記している。(2)から(4)までは昨年度と同内容である。(5)については、第八次定員適正化計画に関して記載するとともに、会計年度任用職員定数に関して、原則、令和 7 年度定数の範囲内で調整することを記載している。

5 ページの「2 歳入」について、(1)は収納率の時点修正を行い、(4)は発行が見込まれない臨時財政対策債を削除している。(2)及び(3)は昨年度と同内容である。

「3 歳出」について、(1)は実施計画採択事業の要求額が実際の執行額と乖離する事例が多いため、より具体的な要求の方法について記載している。6 ページの(3)は予算の範囲内（ゼロシーリング）における所要額の見積もりは引き続き行うものの、経済や物価動向等は適切に反映することを修正している。(2)及び(4)は昨年度と同内容であり、(5)のゼロカーボンシティの実現に向けた取組や D X については、考え方が浸透し、個別に記載する必要性が低下したことから削除した。

7 ページの「4 特別会計」については、昨年度と同内容である。

「5 公営企業会計」は、下水道事業建設基金が現時点において財政調整基金よりも残高が多く、基金の中で一番残高があることから、将来負担と公営企業債のバランスを考慮しつつ、積極的な活用をする旨を修正した。

次に、資料 3「各市普通会計 1 人当たり額・指数等」について補足説明をする。

1 ページについて、防災食育センター施設整備事業費の増加に伴い、歳入歳出が大幅に増加したことから、歳入決算額が昨年度の 1 3 位から 4 位、歳出決算額が 1 1 位から 4 位になった。しかし、それ以外の項目は大きく順位は変わっていない。

2 ページについて、令和 6 年度に財政調整基金を 1, 3 2 0, 0 0 0, 0 0 0 円取り崩したことから、全積立金現在高が昨年度の 1 7 位から 2 2 位になった。また、財政調整基金現在高が 1 2 位から 2 4 位になった。

令和 7 年度においても多額の取崩しを行う必要があることから、財政課としては、安定的な行財政運営を行っていくためには、この

現状を改善していく必要があると考えている。

しかし、厳しい財政状況が続いており、今後、様々な事業費の増大が見込まれているが、こうした状況を踏まえ本方針を審議し、令和8年度予算編成に臨んでいただきたい。

(質疑等)

○ 資料2「令和8年度予算編成方針(案)の前年度との比較」について、2ページの第3段落、「一方、歳出では、防災食育センター施設整備事業の実施により、」とあるが、前年度は、「一方、歳出では、物価高騰対策事業の実施等により、」と「等」が入っている。確かに、防災食育センター施設整備事業が一番大きい要素であると思うが、これだけで歳出が増加したということではないため、「等」を記載する必要があるのではないか。

また、6ページの(3)について、昨年度から引き続き、「(前年度)予算額の範囲内(ゼロシーリング)で所要額を見積もる」とあるが、ここ数年、物価高騰が続き、賃金等が上昇している中で、委託等でも同じ内容で同じ所要額を見積もることは難しい。あえて、ゼロシーリングの文言を残す必要はあるのか。

● 「等」について、防災食育センター施設整備事業は、約40億円の事業であり、近年これほどの規模の事業はなかった。大幅に増加した理由は、この事業に限定される。また、人件費、扶助費の増加も同段落で述べている。

ゼロシーリングについて、今年度決算において、歳出の執行率は、94.8%であり、不用額が出ている。そのため、原則として、ゼロシーリングで対応していただきたい。

○ 昨年度は、物価高騰対策事業とその他の要素の乖離がなかった。よって、防災食育センター施設整備事業の事業費があまりにも突出しているのならば、あえて「等」を付ける必要はないと考える。

○ 承知した。

(結論)

原案のとおり決定する。

議題2 その他

(企画財政部長)

ただいま、承認をいただいた「令和8年度予算編成方針」については、10月1日に依命通達として、各部長宛に送付させていただく。

各部長においては、所属職員に対し、予算編成方針に沿った的確な予算見積りがなされるよう、御指導をお願いする。

また、令和8年度予算編成事務要領等の配布は10月1日、予算見積書の提出期限は10月31日を予定しているため、よろしくお

